

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	シール接合構法小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会(防水工事運営委員会)	
設置期間	2006 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築物の目地には、一般にはシーリング材やガスケットなどのシールが充填・装着される。その目的は、防水や各種変形の吸収のほか部材の支持固定などである。外装構法の進化に伴って、シールへの要求性能も変化しており、高耐久・高信頼性を確保する上では、調査・研究が必要になっている。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：公募したが、応募者なし	
	主査：小野 正(清水建設) 幹事：檜垣恭一(戸田建設) 委員：安達 浩(東レ・ダウコーニング) 今井啓介(信越化学工業) 高原正弘(板硝子協会) 野口 修(マサル) 宮内博之(東工大) 米丸啓介(清水建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	無し	
2005 年度予算	30,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無し
講習会	無し
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	無し
大会研究集会	無し
対外的意見表明・パブリックコメント等	無し
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 外装構法の最新情報の収集：構造接着などに係わる代表的な文献調査を学習 2. シールの使われ方の現状把握：各種構造シールの種類と性能について学習 3. 将来動向の検討：最近のガラス建築・曲面構造などの情報を共有した以上のように、概ね目標を達成した
委員会活動の問題点・課題	1. 最新のガラス建築、ガラス支持構法などの最新情報を収集する必要あり 2. 設計事務所所属の委員を入れることを検討する必要あり 3. 構造接着(S S G 構法)の I S O 化の動きを見守る必要あり

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。